

ニューズレター



きめ細かな支援で癒す心の傷

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 かがわ被害者支援センター



提供：(公社) 香川県観光協会 (小豆島 寒霞溪)

公益社団法人 かがわ被害者支援センター

事件、事故等の被害者及びそのご家族に対して、各種支援活動を行うとともに、社会における被害者支援意識の高揚を図り、地域安全並びに被害者等の被害の回復及び軽減に寄与することを目的に設置された団体です。

「想いと願い」

講師 京都アニメーション放火殺人事件ご遺族

母・渡邊 達子 氏

兄・渡邊 勇 氏

犯罪被害者やご遺族への支援に理解を深めるため、11月27日（水）香川県社会福祉総合センターにおいて、京都アニメーション放火殺人事件ご遺族の渡邊達子さん、渡邊勇さんによる講演会を開催しました。勇氏より、同じ家族でも、全く違う視点・状況があることから、二人で講演をされていること、また多様な被害者がいるこの事件で、今回は渡邊家の二人の事例として受け止めていただきたい、とのお話がありました。

【母・達子氏の講演より抜粋】

事件当日、義理の娘（勇氏の奥様）が「京アニ本社が燃えてるとテレビで言ってる」と家に飛び込んできたことで事件を知りました。美希子が、「ここが本社で、ここが今度から私が仕事をする場所になる第一スタジオだよ。」と案内してくれた第一スタジオの燃えている映像がテレビで流れていました。我慢できずに、美希子の姉と京都へ向かいました。京アニ本社に着き、社長からの話で、病院に搬送された人の名前が全部分かっているけど、その中に美希子はいないと知りました。

翌日、DNA鑑定のために伏見警察へ行き、鑑定の結果が出たのは23日でした。遺体が安置してある場所まで案内していただいたんですけども、「顔は見ない方が良いよ」と言われました。私の中では見ないという選択肢を考えたことも無かったので、「見ます」と言いました。いざ出会ってみると、夫は骨格が美希子だろうとだけ言いました。私はただこの姿は誰にも見せられないと思ったんです。お葬式の後、骨だけになったら、隠さなあかんとか、こういうぐちゃっとした感じ・感情が解放されるはずと思っていましたが、うまくいきませんでした。

しばらくして実名報道をしないかという連絡がきました。夫は、「美希子は悪い事してへんねんから、逃げ隠れせんでも良いからええやろ」と言い、私もそうだと思います。するとマスコミが自宅に来るようになりました。なぜ実家の場所が分かったんだろうというのと同時に、家族全員話なんかしたくないのに、と思っていました。しばらく経ったある暑い夏の日、報道の方に話しました。「本来、被害者家族を訪ねたって、悲しいですっていう以外の何が聞きたいんや。報道する立場としたら、こんな事件がなんで起こったかっていうことを先に調べに行くべきなんちがうか、ここに来てる場合ではないだろう」と言いました。

体調に関しては、事件当日に、もう既に耳鳴りが始まって、頓服を飲んでごまかしていました。ところが、とある方が、「お母さん元気そうやん」って言ったんです。そこで、お願いです。ショックを受けた人間が、元気そうに見えても、本当は元気じゃなくて、心配をかけないがために踏ん張っていることくらいは理解してほしいと思います。

酷い事があったときに、家族同士だどうしても甘えが出てきて、お互いに傷つけ合うようなことが起こり得るといえるのは実感しました。様々な局面で、カウンセリングは大事だなと感じながらの5年間であったと思います。

事件よりずっと前ですが、あるお母さんの言葉が私には忘れられません。「生きてるだけ、丸儲け。」幼い子は、多くの人に守られて育っているということ、実感してほしいと思います。困ったなと思った時には、誰かがこっちおいでって手を出してくれたら、ちゃんとその手を受け止められるような子どもに育てほしい、大人になってもそういう感性を忘れないでほしいと願っています。

【兄・勇氏の講演より抜粋】

事件があった際、私は仕事で、家族のライングループで、次女の職場が燃えているということを知りました。その後、母と長女が京都に行くことになり、私は当時、一歳の子どもと、お腹の大きい身重な妻がおりましたので、家で待つ形になりました。それが正しい選択であっても、感情的

な部分では、駆け付けたい、何か出来ることをしたいというのがありました。待っている間は情報収集しかできず、大丈夫であることを祈るしかない状態でしたが、最も望まない連絡を受ける形となりました。今まで味わったことのない感情、悲しみ、怒り、何だろうこれは…。しんどいは間違いない状態でした。私もアニメやゲームが好きだったので、それが妹に影響を与えてしまったんじゃないか等、自分自身を責めてしまうこともありました。

その当時、僕は、崩れたらだめだっけすごく思ったんですね。正常でいなければならない、凜としていなければならないと思いました。母がカウンセリングを初めからお願いしていたのに対し、僕は最初断っていました。カウンセリングを受ける=自分が崩れている可能性を示すことになりかねない、と思っていました。でも、37.3℃～37.5℃の原因不明の微熱が続き、最終的に精神科の診断を受けたとき、心にすごくショックなことを受けると、自律神経がおかしくなる、それで、体温が上がることもある、と言われました。その後、カウンセリングで自分の考えや感情を吐露する中で整理できたこともあり、救いになった、助けて頂いたと思っています。

裁判は令和5年の9月から始まり、22回の審理が行われ、令和6年の1月に結審となりました。控訴されているので、まだどうなるか、というところです。ただ裁判の前と後では、色んなものが違って感じるようになっていきます。被害者参加制度に参加して、被告人の言葉で残っているものがあります。弁護人に、「今の環境についてどうか？」と尋ねられたとき、被告人は、「今の環境には感謝しかない」そして、「今のような環境やったらば、こんな事件は起こさなかった」と言っていました。理不尽だなという思い、自分の怒りにも気付かされ、それは一生、消えるものではないんじゃないかな、と思わされます。

私は、自分と自分の周りが幸せやったら良いよね、位の感覚で生きていたんです。ただ今回のことがあって、それだけでは駄目なのかもしれない、と思わされました。被告人を赦すことは出来ないし、先程の被告人の言葉にも腹が立ちますけど、やっぱり考えなあかんのかなと思います。

単純に、不幸な感覚に囚われている人が減ってほしいです。未来、このような理不尽且つ、悲しい事が起こらないように、あと、人の心は身体や色んなものに影響することも、自分自身の体験で感じたので、そこを皆様も一緒に考えて頂いたり、制度・環境・ルール等についても、どうすれば少しでもこのようなことが減っていくのかを含め、考えて頂きたいです。先程母が言ったような、「あったかい雰囲気」は、皆が心掛けられる事かなと思います。そういうことをすごく望んでいます。



渡邊美希子様の作品の一部です



約 170 名の方々が参加され、安心出来る社会づくりや被害者支援の重要性について改めて考える貴重な機会となりました



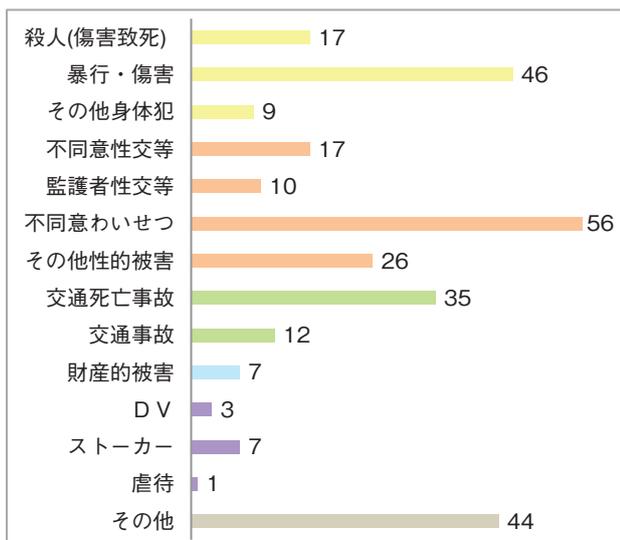
香川大学臨床心理学科の学生と同大学院の院生の皆さんに、受付等をお手伝いいただきました

相談状況

— 令和6年1月～12月 —

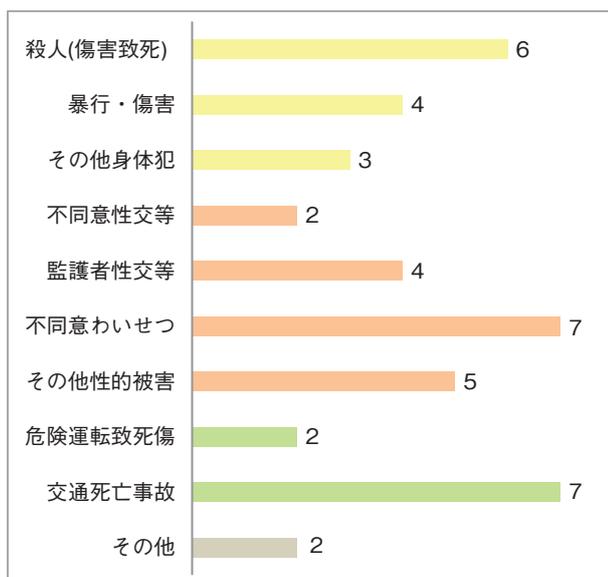
1 電話相談被害罪種別件数

電話相談の受理総数は290件で、被害内容を罪種別に見てみますと、不同意わいせつ等の性犯罪、暴行・傷害、交通死亡事故等に関する相談を多く受理しています。



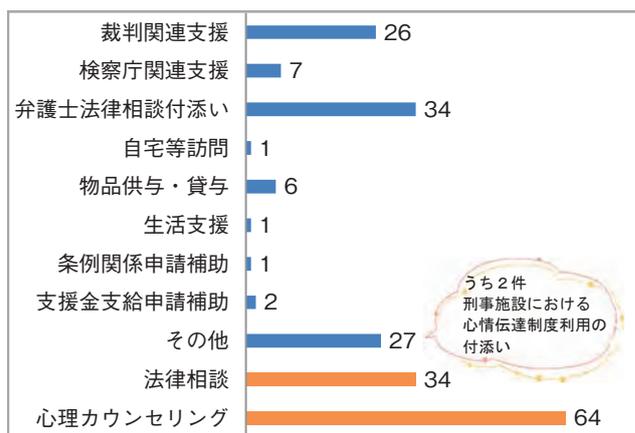
2 面接相談被害罪種別件数

面接相談の受理総数は42件で、被害内容を罪種別に見てみますと、不同意わいせつ等の性犯罪が18件と多く受理しています。



3 直接的支援内容別件数

電話や面接相談の結果、必要に応じて法律相談や心理相談などを行っており、法律相談34件、心理相談64件実施しています。また、ご要望に応じて裁判所や検察庁、行政窓口等への付添い支援を105件行っています。



令和6年1月～12月 相談件数

電話相談	面接相談	法律相談	心理カウンセリング	直接的支援	合計
290	42	34	64	105	535

犯罪や交通事故などの被害にあわれた方へ

- どこに相談したらよいのか分からない。
- 事件後、からだや心の調子が悪い。
- 何かをする気力が出ない。

～ 私達にお電話ください ～

相談電話：087-897-7799

受付時間：月～金曜日 午前10時～午後4時
(祝日、年末年始は除きます)

相談・支援は無料で行います。
秘密は固く守ります。

活動

ボランティア支援員養成講座

- 5月9日～10月25日の間10回開催
【講師：大学教授、検察庁職員、弁護士、臨床心理士、被害者ご遺族など】<10名受講>

継続研修

- 毎月1回開催
【講師：大学教授、精神保健福祉士、弁護士、臨床心理士など】<毎回14～17名参加>

事例検討会

- 毎月1回開催
直接支援員、犯罪被害相談員7～10名が、支援について検討を行っています。

令和7年度ボランティア支援員養成講座募集要項

- とき：5月13日（火）～10月28日（火）午後1時～4時 ※全10回
ところ：（公社）かがわ被害者支援センター 研修室
対象：30歳以上※犯罪被害者等への支援活動に関心のある人
定員：20人程※先着順
受講料：無料
問い合わせ：（公社）かがわ被害者支援センター ☎087-897-7790（午前9時～午後4時）
詳しくはHPをご覧ください (<http://sien-kagawa.sakura.ne.jp/>)



修了証授与式の様子



その他研修への参加

5月23日	警察庁 途切れない支援有識者検討会取りまとめオンライン説明会	オンライン
7月15日	香川大学さぬき再犯防止プロジェクト(PROs)主催 再犯防止シンポジウム	現地
9月7,8日	中国・四国ブロック質の向上研修上半期	広島
9月29日	第9回 性暴力救援センター全国連絡会 全国研修会	オンライン
10月7日	令和6年度交通事故被害者サポート事業 自助グループ運営・連絡会議	オンライン
10月18日	全国犯罪被害者支援フォーラム2024	オンライン
10月19,20日	全国被害者支援ネットワーク 令和6年度 秋期全国研修会	オンライン
11月22日	四国運輸局 公共交通事故被害者等支援フォーラム	オンライン
12月3日	令和6年度四国ブロック再犯防止シンポジウム	現地
12月3日	令和6年度全国犯罪被害者等支援実務者会議（中四国ブロック）	オンライン
12月7,8日	令和6年度支援活動責任者研修	東京
1月20～22日	令和6年度「課題研修」（上級）	大阪
1月24日	令和6年度中国・四国ブロック支援活動責任者交流会	徳島
2月1,2日	中国・四国ブロック質の向上研修下半期	徳島
3月21日(予定)	四国弁護士会連合会 研修	オンライン

講師派遣

講師：支援局長	5月14日 香川大学法学部	5月19日 香川県薬剤師会
	7月23日 高松矯正管区	7月24日 香川県被害者支援連絡協議会総会
	8月22日 県立香川中部支援学校	9月6日 県警被害者支援専科
	11月7日 高松高等検察庁	12月10日 民間シェルター
講師：専務理事	7月3日・10月8日・11月29日 安全運転管理者等講習	

関係機関との連携

11月1日	暴力団排除推進旬間開始式	
11月16日	四国少年院施設見学会	
11月21日	丸亀警察署被害者支援連絡協議会	
1月24日～26日	「ナスバギャラリーin イオン高松東店 2025&ミニ生命のメッセージ展」	
毎月1回/隔月	香川県弁護士会被害者支援委員会/テーマ研究会	

他県センター視察

10月8日	公益社団法人 福岡犯罪被害者支援センター
-------	-------------------------

大変お忙しいところ、
快く視察を受けてく
ださり、誠にありがと
うございました



犯罪被害者支援功労団体表彰受賞

このたび、当センターは多年にわたり犯罪被害者支援活動に尽力し、特に顕著な功労があったと認められる早期援助団体に授与される「犯罪被害者支援功労団体表彰」を受賞し、令和6年10月18日に東京で開かれた全国犯罪被害者支援フォーラム2024での表彰式で半井理事長が表彰状を受け取りました。また、10月29日に香川県警察本部長、11月15日に香川県知事を表敬訪問し、受賞報告を行いました。

今後はさらに、被害者等に寄り添い細やかな支援を心がけ活動して参りたいと思います。



右端が当センター半井理事長



ブロック研修に参加して

令和6年度 中四国ブロック質の向上研修上半期研修会に参加しました。

受講生の声



中国・四国から参加された方々と講師の方々から被害者支援に必要なネットワークに繋げるための基本的知識、技法をロールプレイしました。課題に対してどう行動するのがいいのか、被害者の方に安心して話して頂けるようにグループで意見を出し、ロールプレイをしたり、とてもよい経験になりました。

また、日ごろどんな支援をしているのか意見交換ができ、学ぶことが多く良い研修を受けさせて頂きました。より良い支援が出来るようにしっかり勉強を頑張っていきたいと思います。

支援員 N



2月1～2日に徳島市で開催された、質の向上研修下半期Bプログラムに参加させて頂きました。この研修では支援員から相談員への立場や仕事の変化などについて、実践的なグループ討議やロールプレイ等を通して学びましたが、緊張しながらの参加でした。

私と同じような立場で日々支援活動されている各地の方達の、それぞれの経験に基づいた知識や会話の進め方等をワークの中で見聞きすることで、私も気付かされることが多くあり、良い刺激を受け、講座の受講と共に、沢山のことを学ぶことができました。

この経験を生かし、これからより良い支援に携われるよう、研鑽して参ります。

支援員 I

この度九州・沖縄ブロックの、質の向上研修下半期に参加する機会を与えていただきました。グループに分かれたロールプレイや座学を通して、直接支援の模擬体験をしたり、自助グループ・法律について学んだりしました。被害に遭われた方が、被害に遭ったときから再び平穏な生活を営むことができるようになるまでの間、どこでも、いつでもきめ細やかで途切れることのない支援ができるよう、被害に遭われた方に共感を持って寄り添い、信頼関係を築くことができるよう、自己研鑽に努めなければ、努めたいと強く感じました。また、ロールプレイで共に考え、意見交流会でたくさん会話を交わした参加者の方々、志しを同じくするお仲間と出会えたことに感謝します。

有意義な研修・貴重な経験をどうもありがとうございました。

支援員 H

課題研修（上級）を受講して

大阪被害者支援アドボカシーセンターで、被害者支援におけるポイントを体系的なカリキュラムで受講させていただき、貴重な学びと気づきを得ることが出来ました。

講師の方々が「人と人との繋がりセンターは出来ている」と仰っていました。私もこの言葉を常に忘れず、センター内はもちろん関係機関の方々やセンターを通して出会う方々との良好な関係作りに努めてまいります。今回の研修でも良い出会いが沢山あり、「行って良かった！」と心から感謝しております。

研修での学びや気づきを今後の支援に活かしてまいります。充実した研修を開催していただき、ありがとうございました。

相談員 F

広報啓発

■ パネル展



瓦町フラッグ(11.25～12.2)



香川県庁(11.25～11.29)



じんけんフェスタ2024
(12.7-8)にポスターを
出展しました。

■ その他広報啓発活動

- ・ 10月26日(土) (社福) 香川県共同募金会の募金活動に参加しました。(JR高松駅前)
- ・ 11月25日(月) 「犯罪被害を考える週間」におけるキャンペーンに参加しました。(JR高松駅前)

■ 募金箱設置をお願いします



ご連絡をいただければ、募金箱をお届けします。
ご協力よろしくお願いします。

設置場所(敬称略): クロロフィル高松美顔教室片原町店
父母ヶ浜ポート

命の大切さを学ぶ教室

中学生・高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」の開催を香川県警察と協力して行っています(令和6年度: 中学校2校、高校6校、計8校)。

講師は事件事故の被害者ご遺族にお願いし、生徒達は真剣な表情でご遺族の話を聴き、改めて命の大切さを学び、犯罪や交通事故を起こしてはならないという意識の向上を図ることが出来ました。



実施中学校			
12月13日	直島町立直島中学校	12月13日	高松市立香東中学校
実施高校			
7月1日	私立坂出第一高校	11月20日	県立津田高校
12月5日	県立香川中央高校	1月17日	県立観音寺第一高校(定時制)
2月18日	県立多度津高校	3月3日	私立英明高校

受賞

令和6年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール香川県大会

同コンクールは、犯罪被害者らが実体験を語る「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中・高校生から命の大切さや被害者支援に関する作文を募集し、全国の作文の中から優秀な作品を選定しているものです。

香川県警察本部長・公益社団法人かがわ被害者支援センター理事長賞 「自転車側が守るべきもの」

香川県立坂出工業高等学校 機械科三年 渡辺 蒼大 さん

ここ最近、日本では自転車のヘルメット着用が努力義務化され、さらに、自転車の交通違反の取り締まりで「反則金」を導入するという道路交通法改正案が成立し、二〇二六年までに施行されることが決まるなど、自転車に対する扱いが少しずつ変わってきている。

それでも、街中で自転車を利用している人を見かけても、ほとんどの人がヘルメットを着用してはいない。ひどい場合には、自転車の反射板が外れているにも関わらず、放置して乗り続けている人もいる。

去年、私は学校で行われた「命の大切さを学ぶ教室」を受講した。数年前、愛媛県で交通事故により子どもを亡くされた方のお話を聞き、その子が生前、趣味で撮っていた写真などを見せていただいた。それまでの私は自転車に過失のある事故では、自転車がヘルメットを着用していても助からないことがあるのではないかと、もし、そうだとしたら、ヘルメットを着用してもあまり意味が無いのではないかと、など思っていた。しかし、それは大きな間違いだった。その教室で、自転車利用中の事故について、ヘルメットを着用している場合としていない場合の死亡率を知り大変驚いた。明らかにヘルメットを着用している場合の死亡率が低かったのだ。愛媛県では自転車事故での死亡者をなくすため、中高生のヘルメット着用が義務化されており、中高生の着用率はほぼ百パーセントだという。講師の方は「自転車側が守ることで、守ることができる命がある」とおっしゃっていた。この言葉を聞いたとき、私はあることを思い出した。

私には四つ年の離れた妹がいる。私が小学二、三年生の頃、妹が自転車の練習をしていたときだった。当時、補助輪付きでやっと自転車に乗れるくらいだった妹が、遊びに行こうとしていた私に付いてきてしまったのだ。私は妹が来ていることに気付いていなかったのだが、少しして大きな音と泣きわめく妹の声が聞こえて後ろを振り返ると、妹が用水路に落ちていた。急いで周りの人と親に助けを求めて無事に救出することができた。幸いにも妹はヘルメットを着用していたため、頭部に大きな損傷もなく、腕にかすり傷をした程度で済んだ。しかし、着用していたヘルメットが粉々になってしまうほど、大きな力が頭部に加わっていた。もし、妹がヘルメットを着用していなかった場合どうなっていたか、今でも考えるだけで怖くなってしまふ。

この経験や「命の大切さを学ぶ授業」でのお話を踏まえると、ヘルメットの着用は自転車を利用する人の命を守る大切なものなのだと思う。それでも、ヘルメットを着用しない人の方がまだまだ多いと感じている。ニュースでヘルメット着用に関するインタビューを受けていた人は、「面倒だ」、「少しの移動だから必要ない」などと着用しに否定的な回答をしていた。世間的にはまだ、「命を守る大切なもの」ではなく、「邪魔なもの」として少し煙たがられているのではないかなと思う。講師の方がおっしゃっていたように、ヘルメット一つで守ることのできる命がある。これが世の中に広まり、自転車を利用する人の意識が変われば、自然と交通事故の件数も減少していくと思う。前述したように、法律の改正によって、「ルールだから仕方がない」、「反則金が嫌だから気をつける」といった風潮になってくると思うが、本質は「命を守る」ということなのだ。この本質をきちんと理解して、ヘルメットを着用する人が増えたら良いと思う。



12月8日じんけんフェスタ2024にて
表彰伝達式がありました。

賛助会員のご紹介 (令和6年12月31日現在、順不同、敬称略)

【団体】

平成機工(株)	香川県遊技業協同組合	三豊ライオンズクラブ
平井法律事務所	川東法律事務所	有明法律事務所
みずき法律事務所	馬場法律事務所	四国ネコス(株)
J A香川県	(株)エースユニフォーム	(株)中央印刷
富士印刷(株)	(株)福島商会	四国トラステック(株)
(株)パブリック	高松ライオンズクラブ	四国交通共済協同組合
(株)多田文房堂	四国特機(株)	高橋石油(株)
高島総業(株)	増田薬品(株)	西村ジョイ(株)
香川県信用保証協会	香川ヤクルト販売(株)	(医社)たけお会岩佐病院
(一社)香川県建設業協会	アオイ電子(株)	香川県レンタカー協会
(株)富士クリーン	さぬき警友会	(一社)香川県自動車会議所
栗林校区コミュニティ協議会	大和汽工(株)	(株)タダアキ
(株)美巧社	三建設備工業(株)	(医)溝口クリニック
高松南警友会	善通寺ライオンズクラブ	極真会館香川県支部桑島道場
税理士法人左光・鍋嶋会計	琴平町街商組合	伸興電線(株)
(有)丸島運送店	香川舗道(株)	丸急物流(株)
(株)夢菓房たから	(株)安岐水産	(有)四国ハニー
(株)竹本組		
(株)高松アセットビルディング	(有)エイトヒルズ・コーポレーション	
香川県総合エネルギー協同組合	(株)ジャパンビバレッジ香川支店	
(医社)誠和会中野外科胃腸科医院	(一社)香川県自動車整備振興会	

【個人】

松岡 定幸	安藤 晃	岡 義博	中村 朝宏	平野 美紀	秋山 敬子
高畑 満	大前 知義	大木 祐治	直井 昇	青井 富子	河野 美智子
寺坂 孝	末吉 としみ	山内 高雄	前川 宗正	穴吹 勇人	井上 庄司
小谷 幸雄	田中 優子	濱波 稔	眞鍋 夏海	谷本 美樹	篠原 賢一
三浦 正章	松田 和也	藤原 陽子	渡辺 耕治	田村 弘樹	佐野 満
和泉 竹夫	関 正	川西 宏幸	池田 祥一	淵 猛雄	高坂 有美
中澤 邦子	渡辺 信幸	幸田 順子	馬場 勝	宗高 等	岡 達巳
松本 忠行	大木 眞仁	横田 武	山下 豊	山下 加代	大原 昌樹
大住 章雄	赤松 孝	伊丹 裕子	大上 恒生	相賀 啓太郎	田中 暉彦
穴吹 忠義	小西 俊美	齊藤 真吾	前田 光子	藤谷 克美	橘 典博
坂口 美貴子	太田 一成	川田 圭子	浅海 明子	青木 周作	穴吹 順子
川西 均	奈良 博	溝渕 健平	半井 真司	松原 正則	松岡 志保
渡 州二	喜多 一夫	喜多 いずみ	大浦 真由美	田淵 賢治	匿名の方7名



寄附者のご紹介

多くの方々からのご支援に感謝
(令和6年4月1日～令和6年12月31日、順不同、敬称略)



ご支援
ありがとうございます
ございます

【団体】

香川県弁護士会	(有)大景自動車	(株)設計コンサルタント
三豊ライオンズクラブ	(医社)豊南会香川井下病院	(株)めりけんや
琴平警友会	(株)夢菓房たから	(株)木村
(公財)香川県暴力追放運動推進センター	香川県くらし安全安心課親睦会	
匿名の団体 1団体		

【香川県警察各所属等】

総務課	広聴・被害者支援課	企画課	警務課
留置管理課	監察課	会計課	厚生課
情報管理課	生活安全企画課	人身安全・少年課	生活安全捜査課
サイバー犯罪対策課	地域課	通信指令課	刑事企画課
情報分析捜査課	捜査第一課	捜査第二課	鑑識課
科学捜査研究所	交通企画課	交通指導課	交通規制課
運転免許課	交通機動隊	高速道路交通警察隊	公安課
外事課	警備課	機動隊	警察学校
東かがわ警察署	さぬき警察署	高松東警察署	小豆警察署
高松北警察署	高松南警察署	坂出警察署	高松西警察署
丸亀警察署	琴平警察署	三豊警察署	観音寺警察署

【個人】

石原 郁代	宮本 隆義	半部 諭	福家 光宏	片岡 美保
田井 由香	森 岳大	大林 速郎	上妻 悦司	菌浦 清太郎
松本 健繁	寒川 真由美	大石 俊二	鶴川 利恵	橘 典博
木下 育子	石川 恵市	萬藤 満	安長 清	平井 尚子
古澤 正人	金倉 吏志	木下 洋一郎	匿名の方4名	

【ホンデリング】

花原 愛優	高松北警察署
-------	--------



【共同募金会】

下記の団体が実施する募金活動への寄附金も当センターの各種支援事業に活用させていただいております。寄附してくださった皆様にお礼申し上げます。

香川県共同募金会

「犯罪被害者支援活動募金」

中央共同募金会（赤い羽根福祉基金特別プログラム）

「被害者やその家族等への支援活動助成」



・・・「かがわ被害者支援自動販売機」(寄附金付き自動販売機)設置のお願い・・・

被害者支援自動販売機は、自動販売機設置者の売上金の一部を「かがわ被害者支援センター」が寄附を受ける仕組みです。寄附金は、当センターの被害者等の支援のために活用させていただきます。

また、被害者支援自動販売機は、多くの人々が集まる市街地や広場等に設置されることで、一人でも多くの方が当センターの活動及び犯罪被害者への理解を深める広報的役割も担っています。

支援の輪を広げるため、被害者支援自動販売機の設置にご協力をお願いします。

設置方法

いたって簡単で、賛同する旨のご連絡をいただければ、現在設置されている自動販売機の各メーカーと相談させていただき、協定を結ばばすぐに実現できます。新設の場合はもっと簡単で、ご連絡をいただければ、各メーカーに紹介して新たな自動販売機を設置させていただきます。

ご支援をいただける場合は、当センター (087-897-7790) までご連絡をお願いします。



♡♡♡♡♡ 私たちにできる支援・社会貢献 ♡♡♡♡♡



テーマ募金

香川県共同募金会の協力を得て取り組んでいる募金活動です。

毎年1～3月に、被害者支援活動の趣旨を広く住民に伝え、住民の理解と共感に基づく募金活動を展開しています。

ホンデリング～本で広がる支援の輪～

読み終えた書籍を寄附することで、買取業者の買取相当額がセンターに寄附されます。

犯罪被害に遭われた方々が安全で安心な生活を送れるように、あなたの力を貸してください。

詳細は当センターHPをご覧ください。



ご協力
お願い
します

犯罪被害者支援商品

犯罪被害者支援商品による支援活動にご協力いただける事業者様を募集しております。

ご協力いただける場合は、当センター事務局 (087-897-7790) までご連絡ください。



(株)夢葉房たから様



(株)めりけんや様

・・・一人で悩まずお電話ください・・・

犯罪や事故にあわれた方やご家族のための相談電話です

相談電話 087-897-7799 (平日10:00～16:00)
全国共通ナビダイヤル 0570-783-554 7:30～22:00(12/29～1/3を除く)



(公社)かがわ被害者支援センター
シンボルマスコット
ふわりん

相談・支援無料 秘密厳守

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 かがわ被害者支援センター

<http://sien-kagawa.sakura.ne.jp/>

編集後記

「雪がとけると何になる？」という質問を聞いたことのある方も多いと思います。答えは、水でしょうか、春でしょうか、それとも…？答えが何にせよ、雪が「とける」ことに着目した点を心に留めたいと思います。被害者の方々が、少しでも安心で安全に過ごせるようにと祈りつつ、支援活動に精進して参ります。 <支援員S>



この冊子は赤い羽根共同募金の助成により作成しています